



朱 振南「美日載歸」(59×74cm、額装、2005)

台湾北部の小さな漁村・富貴に生まれた朱振南氏が山田展のために制作した海の最新作。好天であれば波も静かで魚もたくさん取れ、夕日を浴びて家族の待つ村へ帰れる。一日の漁を終えて無事に港に入る喜びは漁師一番の幸せである。

山田町合併50周年記念事業 朱振南・南奎雲友好書画展

とき **4月8日(金)~10日(日)** **入場無料**

午前9時~午後5時 (10日は午後4時まで)

ところ **町中央公民館特設会場**

昭和30年3月に1町4村が合併し、新生山田町が誕生してから50周年を迎えました。これを記念して、朱振南・南奎雲友好書画展を開催します。朱振南さんは国立台湾師範大学などで講師を務める傍ら、欧米各地で展覧会を開くなど活躍中の書画家。盛岡市在住の南奎雲さんは、毎日書道展審査員を務めるなど現代日本を代表する書家です。会場にはお二人の作品80点のほか、山田書道会や日本画クラブ、山田高校書道部の皆さんの作品も展示されます。ご家族、友人お誘い合わせの上、お気軽にご来場ください。

◆問い合わせ 町教育委員会事務局文化担当 (☎82-3111内線624) へどうぞ。

山田
広報

No

840

今号の
主な内容

施政方針の内容

平成17年度一般会計予算の中身

町の全会計予算の132億円の使いみち

みんなのスペース

町のわだい

2~5

6

7

8~9

10~11

4月1日号 2005

CONTENTS